



# 切実な願いにこたえて

## 三好 平

みよし ひとし

### 議員の一般質問

お気軽に  
ご相談  
ください

国保・年金・介護保険・地域の要望…  
**無料生活相談**

三好平が、長年、行政に携わった経験と、各分野の専門家などの力も得ながら、お困りごとの解決に力をつくします。

連絡先 ☎ 0896-58-2576



# 川之江の学校給食は 自校方式を続け、広げてこそ

## 提案のポイント①

- 新しい教育長になった機会に情報操作・秘匿で進めてきたこれまでの手法の検証を

川之江の自校方式をセンター方式化する議論の検証が必要です。その理由は▼老朽化する三島給食センター単独建て替えでは合併特別債が使えないと情報操作▼自校方式は国の新しい衛生管理基準により既存施設の2～3倍程度の面積が必要で不可能と決めつける▼児童・生徒数の減少の検証がされていない▼建設地は現施設から数百メートル東に移動したものを最終段階で決め打ち—などです。

三好議員はこうしたやり方は市民の不信を招くと指摘。新教育長に、これまでの手法を検証し、自校方式を続け、広げる方向へ舵を切ることが求めました。

## 提案のポイント②

- 過度な設備投資を見直し、老朽化した三島給食センターは3,100食で早急に建て替える

新しい給食センターの基本計画には幼稚園への給食実施を組み込んでいます。三好議員は、幼稚園への給食はセンター化と切り離し、親子方式、自園方式による早期実施を要望。

また基本構想が今後20年間（平成26～45年）で1,000人弱減少すると予測している点について、14年間で2,304人減少していることを示し、大幅な違いは過大な施設とならないかと提起。他の自治体が平成21～23年に建設した給食センター建築工事費は3,400食で約9億1,623万円との市の資料を示し、三島給食センターは現状の3,100食程度に限りて建て替え、基本計画にある4,500食、工事費約20億円を見直すよう求めました。

## 提案のポイント③

- 子どもたちを真ん中に考えて自校方式を続け、広げる立場での検討を

児童数は川之江小学校（旧校舎）給食開始時（S48）から584人・48%減（H27.5.1時点）、生徒数は川之江北・南中学校給食開始時（H5）から632人・41%減（同）。児童数の減少は給食供給、施設規模に連動します。

三好議員は、施設も川之江小学校のように別棟新築に限らず、施設改造、改修で対応可能など様々な検証を行い、子どもたちを真ん中に考えて、自校方式を続け、広げる立場での検討を求めました。

新教育長は、検証を加えることを認めず、あくまで基本構想、基本計画に沿って進める答弁に終始しました。

学校給食は自校方式が一番。みなさんの声を市に届けましょう。署名運動にご協力ください

## 入居していたサービス付き高齢者住宅が 特養ホームへの移動を認めない？

サービス付き高齢者住宅に入居している親族から三好議員のもとに相談が寄せられました。その内容は—月12～13万円の年金暮らしでは費用負担が大変。特別養護老人ホームに入居を申し込み、順番がまわってきたものの、高齢者住宅の事業者が特養ホームの事業者と情報交換した結果、高齢者住宅の事業者から特養ホームが受け入れ困難と連絡してきた—というものです。三好議員が高齢介護課に事情説明したところ、無事、特養ホームへ入居できました。

こうした事例は氷山の一角ではないかと考えた三好議員は一般質問で、介護施設間の移動を利用者の立場で改善することや、介護事業者の実態を把握、介護事業者への啓発を提案。

市は、▼国や市が定める運営基準に抵触する可能性が高い事案は指導監督の対象となり、悪質な場合は事業所指定の取り消し等も考えられる▼地域包括支援センターを中心に関係機関との連携のもと、ケースごとに臨機に対応していると答弁しました。



答弁  
悪質な場合は  
事業所指定取り消しも

## 地元自治会の要望を受け止め 城北団地の陥没事象の調査を

平成28年4月に城北団地（埋立地）から市に要望書が提出されました。当該地は、昭和62・63年度に竣工・分譲された住宅地で、一角の市の漁業関連用地では幾度となく陥没事象があり、個人の住宅地でも陥没部があり、善処を求めています。

三好議員が要望書の受け止めにたざすと、市は監視地として定期観察しているものの、陥没事象の調査・解明には至っていないと答弁。そこで、「市の公共施設、用地の近隣での危険される現象を積極的に受け止め、市の施設の維持管理の上からも、状況把握は必要」と指摘。当時の工法の確認、川之江漁港堆積物の土質成分の分析、漁業関連用地、駐車場用地、公営住宅敷地、市道の地下状況を把握するよう提案しました。

市は、提案のとおり対応を検討したいと述べるとともに、対象が広範囲のため目視点検を考えているが、地盤の変状が確認されたら詳細な調査をしたいと答弁。

三好議員が今変化があるかどうかの調査を求めると、市は関係4部（財務部・建設部・経済部・消防本部の関係課）で協議すると答弁しました。

干潮時に石積み側から流出する海水の流れを調査する三好平議員



答弁  
提案のとおり検討したい